



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月5日

上場会社名 株式会社 丸運

上場取引所 東

コード番号 9067 URL <https://www.maruwn.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑原 豊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 植西 祐

TEL 03-6861-3419

四半期報告書提出予定日 2020年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	11,064	11.5	41		2		26	
2020年3月期第1四半期	12,504	0.5	139	43.7	198	33.5	151	18.6

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 47百万円 (72.4%) 2020年3月期第1四半期 173百万円 (42.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	0.93	
2020年3月期第1四半期	5.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	38,361	23,056	59.3	787.34
2020年3月期	40,856	23,037	55.6	786.66

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 22,744百万円 2020年3月期 22,724百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		4.00		4.00	8.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		4.00		4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,400	10.9	130		70		70		2.42
通期	48,100	5.1	600	43.4	700	42.5	440	51.4	15.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	28,965,449 株	2020年3月期	28,965,449 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	78,258 株	2020年3月期	78,258 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	28,887,191 株	2020年3月期1Q	28,887,372 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報を基礎とした判断及び仮定に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期のわが国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた全国的な緊急事態宣言の発令に伴う企業活動の制約、外出自粛要請などから、低調に推移しました。5月に緊急事態宣言が解除され、経済活動再開に向けて舵が切られたが、感染拡大の前の水準に戻るには、相当の時間を要すものと思われます。

今後については、国内外の新型コロナウイルス感染拡大の収束時期が不透明な状況下、感染拡大の第2波が到来し、自粛要請や緊急事態宣言の発令により再び経済活動が停滞する懸念があります。また、米国大統領選挙を控えて米中貿易摩擦が再び深刻化するなどの世界経済悪化への懸念もあります。

陸運業界では、トラック乗務員の不足などの構造的な課題を解決するには、まだ時間を要すると思われ、厳しい状況が続いております。

このような状況下にあつて、当社グループは、2020年度から2022年度を対象とした第3次中期経営計画をスタートさせました。グループ丸となり企業価値の向上の達成に向けて、アクションプランの実現に取り組みます。

これらの結果、当第1四半期の営業収益は、貨物輸送で価格改定の取り組みや既存顧客との取引深耕および新規顧客の獲得に取り組んでいるものの、エネルギー輸送での新型コロナウイルス感染拡大の影響による輸送数量の減少などにより前年同期比11.5%減の110億64百万円となりました。

経常損益は、貨物輸送およびエネルギー輸送の営業収益の大幅な減少に伴い前年同期比2億1百万円減の2百万円の経常損失となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損益は、前年同期比1億78百万円減の26百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、会社組織変更に伴い「国際貨物」セグメントを国内と海外に分離し国内は「貨物輸送」セグメントに、海外は「その他」に統合、「潤滑油・化成品」セグメントは「石油輸送」と統合し「エネルギー輸送」と名称変更、また「石油輸送」の一部事業を「その他」に統合しております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

《貨物輸送》

当部門においては、価格改定の取り組みや既存顧客との取引深耕、新規顧客の獲得、国際貨物を含めた各取引の強化を図るなど取り組んでおります。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、事業環境は低迷しています。また、主力の自動車関連貨物の物流需要減により、当社が多く取扱うアルミ、銅製品およびタイヤ補強用鋼線等の落ち込みが著しく、部門全体で減収減益となりました。

これらの結果、営業収益は前年同期比12.4%減の67億41百万円となり、経常利益は、前年同期比89百万円減の1億20百万円となりました。

《エネルギー輸送》

石油部門においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、輸送数量が前年同期比14.0%減少となった結果、減収減益となりました。

潤滑油・化成品部門についても、同様に新型コロナウイルスの影響により、主要顧客の輸送数量が前年同期比16.0%減少となり減収減益となりました。

これらの結果、営業収益は前年同期比11.5%減の34億14百万円、経常損益は前年同期比1億52百万円減の1億55百万円の経常損失となりました。

《その他》

海外物流事業は、2020年4月より海外拠点を中心とした事業部としてスタートしました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、顧客の事業活動が停滞したことに加えて、米中貿易摩擦の影響から輸出入品の荷動きは、低調に推移しました。しかし、中国国内の保管や輸送については、足元は、回復基調にあります。また、前年度から取り組んできた自社での保管や輸送効率の改善等が貢献したことにより増益となりました。

会社組織変更に伴い新設したテクノサポート管理本部の受託業務部門においては、油槽所関連は堅調に推移しましたが、製油所関連では定期修繕工事が、前年実施規模との違いから収益減となったことにより減収減益となりました。

これらの結果、営業収益は前年同期比4.3%減の9億8百万円、経常利益は前年同期比40百万円増の31百万円となりました。

当期のセグメント別の営業収益及び経常利益は次のとおりです。

セグメント	営業収益	前年同期比	経常利益	前年同期増減額
貨物輸送	6,741百万円	87.6%	120百万円	△89百万円
エネルギー輸送	3,414	88.5	△155	△152
その他	908	95.7	31	40
合計	11,064	88.5	△2	△201

(注) 1. その他の事業は、海外物流事業、テクノサポート管理本部、損害保険代理店業および事務代行業等であります。

2. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

《資産》

当第1四半期連結会計期間末における総資産は383億61百万円となり、前期末に比べ24億94百万円減少しました。この主な要因は、現金及び預金の減少15億52百万円、季節差による受取手形及び営業未収入金の減少9億34百万円等によるものであります。

《負債》

当第1四半期連結会計期間末における負債は153億5百万円となり、前期末に比べ25億14百万円減少しました。この主な要因は、季節差による営業未払金の減少6億59百万円、借入金の減少10億54百万円、未払金の減少5億65百万円及び納税による未払法人税等の減少2億79百万円等によるものであります。

《純資産》

当第1四半期連結会計期間末における純資産は230億56百万円となり、前期末に比べ19百万円増加しました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失を26百万円計上したことによる減少、子会社1社を連結範囲に含めたことによる利益剰余金の増加87百万円、配当金の支払による減少1億15百万円及びその他有価証券評価差額金の増加70百万円等によるものであります。この結果、自己資本比率は前期末の55.6%から59.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績については、本日公表いたしました「2021年3月期業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,329	1,776
受取手形及び営業未収入金	6,884	5,950
商品及び製品	2	0
原材料及び貯蔵品	44	36
その他	945	1,037
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	11,204	8,801
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,251	5,149
土地	16,908	16,908
その他(純額)	3,750	3,686
有形固定資産合計	25,910	25,744
無形固定資産		
ソフトウェア	83	733
ソフトウェア仮勘定	912	237
その他	88	88
無形固定資産合計	1,084	1,060
投資その他の資産		
投資有価証券	1,692	1,785
その他	1,092	1,098
貸倒引当金	△128	△128
投資その他の資産合計	2,655	2,755
固定資産合計	29,651	29,559
資産合計	40,856	38,361
負債の部		
流動負債		
営業未払金	3,521	2,862
短期借入金	3,562	1,957
未払法人税等	281	1
賞与引当金	643	331
その他	2,537	2,313
流動負債合計	10,545	7,465
固定負債		
長期借入金	2,664	3,213
再評価に係る繰延税金負債	1,937	1,937
退職給付に係る負債	2,320	2,343
役員退職慰労引当金	40	42
その他	311	302
固定負債合計	7,273	7,839
負債合計	17,819	15,305

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	3,077	3,077
利益剰余金	13,165	13,109
自己株式	△21	△21
株主資本合計	19,779	19,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	354	425
土地再評価差額金	2,811	2,811
為替換算調整勘定	△117	△120
退職給付に係る調整累計額	△104	△97
その他の包括利益累計額合計	2,944	3,019
非支配株主持分	312	312
純資産合計	23,037	23,056
負債純資産合計	40,856	38,361

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業収益	12,504	11,064
営業原価	11,586	10,383
営業総利益	917	680
販売費及び一般管理費	778	721
営業利益又は営業損失(△)	139	△41
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	43	35
その他	23	13
営業外収益合計	68	50
営業外費用		
支払利息	5	7
障害者雇用納付金	2	2
その他	1	2
営業外費用合計	9	12
経常利益又は経常損失(△)	198	△2
特別利益		
固定資産売却益	24	6
負ののれん発生益	7	—
その他	0	—
特別利益合計	31	6
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
新型コロナウイルス感染症関連損失	—	34
特別損失合計	0	34
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	229	△30
法人税、住民税及び事業税	13	11
法人税等調整額	60	△15
法人税等合計	74	△3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	154	△26
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	151	△26

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	154	△26
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43	70
為替換算調整勘定	△31	△3
退職給付に係る調整額	7	7
その他の包括利益合計	19	74
四半期包括利益	173	47
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173	48
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。